

# 台風19号被害の 今後の対応と取り組みは

## 被災者に寄り添い 各課連携し取り組む



議員 豊間根 信  
(政和会)

**問** これまでの経験値を上回る豪雨被害により山田町をはじめ各地域で大被害を受けた。今回のような気象災害の多発が懸念されている。今日までの対応・原因調査・検証等および生活再建支援等の今後の施策展開は。

**佐藤町長** 現地調査により被害箇所状況把握に努めてきた。田の浜地区においては水害原因究明のため、水害検証委員会を立ち上げた。町独自の生活再建支援策は被災者の早急な再建が可能となるよう総合的に配慮した内容であると考えている。今後、戸別訪問を行い内容周知に努め、早急な再建が図られるよう被災者に寄り添った相談体制を各課連携し進めていく。

**問** 原形復旧と改良復旧を比べた場合の町財務負担の見直しは。

**甲斐谷副町長** 制度上は原形復旧が前提であるが、田の浜地区の状況においては改良復旧が必要と考える得ない。原形復旧と同様の対応を国に求めていく。



被災者の早急な再建のための施策展開を望む

**山田北インターのフル化を**

**要望活動の調整を図っていく**

**問** 地域はもちろんのこと、近隣市町村の方々からもフルインター化実現の強い声があるが。

**町長** 全線開通後の重要

な取り組み課題であり、今後整備に必要な道路予算確保に関し、道路関係期成同盟会等と連携を図っていくことが必要と

認識。三陸国道事務所では全線供用後に交通量やインターの利用状況、周辺の開発状況を踏まえフル化の必要性等について検証を行うとしており、実現に向けた今後の要望活動の時期等について調整を図っていく。

### 地域生活基盤整備事業の進捗は

### 現地を把握し地域の声を反映し防災に努める

**問** 豊間根・八千代地区の排水路整備計画の進捗状況は。

**建設課長** 設計業務に時間がかかり工事実施が遅れたが、今年度、幹線排水路流末の工事を進める。

**問** 具体的な実施計画内容を示せ。

**建設課長** 国道横断排水路、津軽石川河川内排水路、勝山地区東側工区排水路整備を今年度中には発注する計画であり、令和2年度に八千代地区か

ら堂ヶ鼻区域を実施し3年度までに完了予定。

**問** 荒川地区の金塚山側からの土砂対応策を。

**川口農林課長** 県の林務室と協議し、どのような対策ができるか情報交換をしながら進める。

**問** 町内各地域で今回のような危険性を持つている。台風被害での新たな対応は。

**農林課長** 現地を把握し、地域の方々の思いを聞き今後の防災に努めていく。

#### その他の質問

- ◆ 山田町総合計画の成果および今後の展開は
- ◆ 産業振興事業の進捗状況と今後の展開は
- ◆ 環境美化保全活動・不法投棄に対する対応状況は